

中運交企第151号
令和5年3月10日

海津市地域公共交通会議
会長 横川 真澄 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	海津市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

<p>評価できる取組</p> <ul style="list-style-type: none">・定時定路線バスの再編について、養老鉄道との接続強化や停留所増設を実施し、利便性向上・利用促進に努めていることを評価します。・にしみのライナーリレーバスの実証運行を開始し、通勤や観光目的での名古屋圏への往来を実現し、利便性向上につながったことを評価します。・デマンド交通について、輪之内町や桑名市など近隣市町へのアクセスを向上させ、利便性向上に努めたことを評価します。・1日フリーバスやプレミアム付き乗車券など、利用促進策として様々な企画を行っていることを評価します。

<p>期待する取組</p> <ul style="list-style-type: none">・次年度の地域公共交通計画の中間評価を計画通り実施されるとともに、現状の路線網やサービスに合った目標値を検討されるとともに、引き続き住民ニーズを把握し利便性、持続可能性、生産性を高める地域公共交通ネットワークの形成に向けた取組が実施されることを強く期待します。・デマンド交通の見直しで新規需要の掘り起こしを予定されているが、既存の交通体系や住民主体の取組との整合性に注意しながら検討を進められることを強く期待します。・にしみのライナーが本格運行する場合は、地域公共交通計画への反映を念頭に置き、リレーバスについて、現状ルートが利用者ニーズに合致しているかを踏まえ、更なる利用環境向上に向けた取り組みを進められることを強く期待します。・次年度に予定している名古屋圏へのアクセスバス運行開始に向けて、周辺自治体とも連携してより利便性の高い交通体系が実現することを期待します。・利用者や住民のニーズを把握して、継続的に路線やダイヤの見直しが行われることを期待します(海津明誠高校への通学対応等)。
--